



すべては健康のために

ICTを活用して『検索する時代』から

『個別に質問する時代』へ

ChatGPT（生成系AI）に質問してみましょう！

人生100年時代に向かい『何よりも大切な日々の健康を維持していくために』、さらには『病気になってからも不安なく病気と上手に付き合っていくために』、個人個人がChatGPTなどのICTを参考にすることにより、これまで以上に『医療情報収集力』『患者力』を向上させて、医師・医療者と一緒に医療の質を向上する新しい時代が到来しました！健康のためにいろいろな視点でChatGPTに質問してみるのもよいかもしれません。

例えば

Q. 両親共に高血圧です。50代の女性ですが、私にも遺伝しますか？ と聞くと

A. 両親が高血圧である場合、高血圧の遺伝的リスクが増加する可能性があります。遺伝的要因は高血圧の一因となることが知られています。ただし、遺伝的な要因だけが高血圧の発症に影響を与えるわけではありません。生活習慣、食事、運動、ストレス、体重など、環境的要因も高血圧の発症に影響を与えます。

と、回答があり、以下日常生活で気をつける留意事項が並べられます。

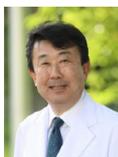
ChatGPTに質問するときのポイント

- ①健康管理や病気について知りたいポイントを具体的に質問する。
- ②性別、年齢、健診のデータを入力、結果を解釈したアドバイスをもらう。
- ③症状やその経過を入力、想定される疾患・病態、対応を質問する。



約1年前に登場したChatGPTは、2021年までの世界中の文献・情報から一定の質でバランスよくいくつかの視点でまとめて箇条書きで解説してくれるものです。ただし、インターネットの検索と同様、必ずしもすべてが正しいわけではない場合もあることに留意しましょう。上手に活用して回答をヒントにインターネット検索で具体的に調べるなど、これからの健康情報収集について工夫してみることをお勧めします。

最終的には、必ず医師・医療者に確認・相談してください。



秋田大学 大学院医学系研究科
医学教育学講座

教授

長谷川 仁志 はせがわ ひとし

プロフィール

秋田大学医学部卒業。秋田大学大学院医学研究科修了。県内医療機関勤務を経て、2013年から現職。現在、秋田県医師会理事、日本医学教育学会理事、日本医師会生涯教育推進委員会委員長を併任。(総合内科専門医、循環器専門医、米国内科学会fellow)

